

福居

vol.110



平成21年度卒業

お世話になりました



鍋屋 昌明

5年間という短い間、少しでも皆様と関わりを持てたことを嬉しく思います。これからも良いお付き合いを続けていけたら幸いです。



市橋 加奈子

あつという間の4年間お世話になりました。YEGを通してYEGにいななければ経験できないことを、たくさん経験させていただき感謝しております。これからのますますの皆様のご活躍楽しみにしております。本当有難うございました。



堀田 達也

歴史の舵はいつの世も熱あるものが取ってきた。青年部の歌「伸びゆく大地」の3番の一節。豊かな郷土を築くために、熱い情熱だと導いてくれる、私が一番気に入っていたフレーズです。この歌を励みに私はこの5年間、がむしゃらに突っ走ってきました。

今回卒業にあたり数名のメンバーから会員継続の打診を頂きましたが、既に今年度は直前会長でボーナスイヤードであり、私には常日頃より自分の情熱に陰りを感じた時が青年部活動から身を引く時と考えておりました。これは決して私が青年部活動に魅力を感じなくなったからではありません。ここ数年育ってきた若いメンバーが私の情熱を凌駕してくれた表れだと、むしろ誇らしく感じています。皆さんと共に活動した日々は忘れることができない素晴らしい時間でした。今後の皆さんの益々のご活躍を心よりご祈念いたしまして、私からの御礼の言葉とさせていただきます。



宇野 雅博

短い間でしたが、一番の思い出はアントレキッズです。みんなに助けってもらって無事終えることができ、感謝しています。また、いつでも呼んでくださいね。喜んで遊びに行きます。



吉田 晋造

長い間ありがとうございました。後半はYEG活動に関われなくて、申し訳なくも残念です。今後ともよろしくお願いします。

行動こそYEGの証し！

自分を磨き、

実りある挑戦をしよう！



福井商工会議所青年部
平成21年度会長
水元 一徳

青年部の平成21年度も後しばらく、思い返せば、本年度は本当に盛りだくさんの1年であったと思います。

年度当初は、我々を取り巻く環境が大きく変化し「100年に1度といわれる世界的な恐慌」

に見まわれ、我々青年経済人にとって厳しい状況を迎えることが予測できました。

しかし、我々はこの現実をしっかりと受け止め、失敗を恐れず行動・実践に移していこうと、21年度は、「行動こそYEGの証し！自分を磨き、実りある挑戦をしよう！」をスローガンに、日本・福井が誇る伝統文化や芸術、技術、歴史などに触れつつ、またYEGの過去の事業を振り返り検証し、「仲間づくり・青年経済人としての資質向上・地域への貢献」をテーマに、YEG活動を構成いたしました。YEG活動を通し、青年経済人としての知識・見識を身に付け、個人、企業、地域に対し、より明るく魅力的な発展に繋がるよう、仲間と共に「実践・行動」に移せたのではないかと思います。

本年度は、県連会長を当単会より輩出させていただき、代議員総会を主幹し、微力ながら県連活動に協力させていただきました。また福井YEG創立35周年を向かえ10月には会員皆の力を結集し、記念大会を開催させていただきました。アントレ・キッズも駅前・豊小学校と2ヶ所で、地域の方々と一緒になって子供達のキャリア教育の一環として取り組みました。

改めて、福井YEGの誰にも負けないスピリッツと、どこの団体にも作る事の出来ないチームワーク・ネットワークを感じることができたのではないかと思います。本年度会長を受けさせていただき、改めて福井YEGの「底力」を見ることが出来たと思います。

今後、さまざまな試練や苦難が我々を取り巻くと思います。しかし私達YEGの仲間がいる限り楽しく充実した日々が送れると思います。ぜひ今後のYEG活動を一人一人が大切にいただき地域の為、企業の為、家族の為、そして自分の為に活かしていただきたいと思います。

21年度は、とても楽しい1年でした。本当にありがとうございました。

4月度例会

22日(水)、平成21年度4月定期総会ならびに4月度例会が福井駅前「AOS SA (アオッサ)」の6階大会議室にて執り行われました。

冒頭、平成21年度会長水元君の挨拶から始まり、今年度事務局の紹介、新入会員の紹介と会員バッチの授与、議長宮本君のもと第一議案、第二議案、第三議案、第四議案を審議、質疑応答が行われました。

引き続き、平成20年度感風堂々審査室の清川室長より事業表彰が行われ、「総務・渉外委員会」「会員拡大・交流委員会」が賞を受け、非常にスタイリッシュな名刺入れを景品として授与されました。

次に、平成20年度会長堀田君から平成21年度会長水元君への引継ぎの儀がおこなわれます。花束贈呈、かたい握手をもって会長職が引き継がれました。

最後は委員会報告をもって平成21年度4月定期総会は無事幕を下ろしました。引き続き、資質向上委員会の4月度例会が同会場で行われました。坂田守正氏の講演会でテーマは「歴史・文化・地域のデザインの融合」。1時間以上にとわたる講演でしたが、会員一同真剣なまなざしで聞き入っております。



口「松田屋」にて行われました。非常な盛り上がりの中、坂田先生との交流、新入会員の交流が盛んに行われ非常に良い雰囲気の中懇親会も無事閉幕いたしました。

【取材担当：天野準一】

5月度例会

16日(土)、福井商工会議所ビル地下コンベンションホールにて、福井県商工会議所青年部連合会及び福井商工会議所青年部5月度例会を開催しました。

代議員総会では、県市、商工会議所から来賓のご臨席を頂き、清川卓二会長のもと、平成21年度福井県商工会議所青年部連合会の予算・事業が満場一致で承認され、新たなスタートを切りました。本年度は当会から県連会長を輩出したこともあり、清川会長、菊専務理事、五十嵐会計をはじめ、各人並々ならぬ熱意で臨んだ総会となりました。

記念講演では、講師にブツクオフコーポレーション(株)の橋本真由美会長をお招きし、「最強の現場の創り方」というテーマで講演を頂きました。橋本会長「自身福井県出身ということで、和やかなムードの中(橋本会長は地元だから手抜きができないと緊張されていたようです)。



ご自身のパートタイム時代の話、店長時代の話、取締役に就任してからの話と、経験と徹底した現場目線からの説得力あふれる話で、仕事のヒントを頂きました。「役員も社員もパートも関係なく、みな同じ方向を向いて一丸となる、共同体、あるいは協働体をとことんまで追求している。」という言葉が心に残っています。

懇親会にも多数のご参加を頂き、近畿ブロック大会や全国会長研修会など、恒例の事業アピールで盛り上がりました。各単会が集まったの事業はエネルギーで溢れていると、改めて実感した一日でした。

【取材担当：佐々木俊一】

6月度例会

24日(水)、福井商工会議所ビル2階会議室にて、実践・実行委員会(山口委員長)担当の6月度例会を開催しました。

30周年事業で提案されたビジョンに立ち返り、ゲストとして30周年時の会長(清川君)と実行委員長(高原先輩)をお招きしましてクロスディスカッションにてのトーク。

全会員が協力し合い、知識・見識を持ち、福井YEGに出来る活動とは何か?若いメンバーの知恵を出し合いYEG活動に活かしていくとことと主体に一人の情熱を全員で共有し合い、市や町に働き掛けFUKUIのまちづくりを進めていく。各委員会ごとにテーブルを囲み、福井フェニックスまつりについての課題をどう取りくんでいくか?今年は昨年までのマンネリ化を払拭した手法に新たに切り替えていこうという取り組みにしていましよう。との意見が大きな課題としてピックアップされました。

最後に各テーブル毎に代表者による意見交換を

7月度例会(大野・福井合同例会)

18日(土)13:00より、ホテルリバージュアケボノならびに足羽山を会場に県連三地区交流会大野・福井合同例会(7月度例会)を主催。資質向上委員会(松田委員長)が担当しました。

ホテルリバージュアケボノの受付にて、昨年より企画作成しておりましたFYE Gポロシャツが手渡され、着用して例会に参加。13:00より2階大広間にて式典がスタート。

県連の清川会長より「この三地区の更なる連携の強化を。天地人を備えた大津屋さんの話しが楽しみです。」という挨拶の後、福井YEG水元会長より「昨年の大野YEGとの交流会は大変楽しま



しながら福井フェニックスまつりをどう運営していくかが今後の話し合いによって方向性を指し示していくと思われまます。

福井フェニックスまつりの醍醐味でもある「YOSA KOIイッチョライ」が参加している踊り子さんしか盛り上がりがない。それに対してギャラリイがあまりにも少なすぎではないか?もつと市民の方々に足を運んでいただくように運営してかなければならない。

【取材担当：工藤紀昌】

せていただきました。そのときに見たその色の黄色いTシャツを見てFYE Gポロシャツをつくらうと思えました。小川社長は経営者の何たるかを学びたい。」と続き、最後に大野YEG山内会長より「三地区に携わり得たものを大野単会でも発揮したい。本日はとても楽しみです。」という言葉をいただきました。



続きました。大津屋小川社長の講演を拝聴します。その内容は大変に勉強になるものでした。最後に「経営はゴールの無い駅伝競走である。なので、経営哲学を持った組織を作らなければいけない。」と言われて、講演を終えられました。

その後は、ホテルリバージュアケボノを出て、茶道研修を受けるため足羽山へ。途中、足羽川河川敷で松井君より、河川敷の桜並木と「桜のお話し」のお話を聞きます。

愛宕坂を上り途中の、「福井市愛宕坂茶道美術館」「橋本覚覧記念文学館」「自然史博物館」を見学し(自然史博物館の展望台から見る福井市のパノラマは圧巻でした)、「青松園」にて茶道研修を受けました。

流派は遠州流茶道。会員諸君はみな正座し、緊張の中始めました。まずはお菓子をいただき、次にお抹茶をいただきます。

雨が止んでくれるのを祈りつつ自宅で準備していると、更に雨脚は強くなっていきます。やるなら晴天のもとがいいな、と思いつつお昼13:00に集合場所に行きました。

56回福井フェニックスまつり

1日(土)15:30より第56回フェニックスまつりの会場であるフェニックス通りにおいて「みんなのひろば」を開催しました。

今年がダメかな?と思われた方も多かったのでは?長引く梅雨で8月1日(土)のフェニックスまつりの当日は朝から雨。天気予報も雨マークで、さすがに雨天中止になってしまうかと思っていたら、テレビCMではまつり開催の案内が流れました。

雨が止んでくれるのを祈りつつ自宅で準備していると、更に雨脚は強くなっていきます。やるなら晴天のもとがいいな、と思いつつお昼13:00に集合場所に行きました。

最初のミーティングの時は、尚も雨が降っていました。が、みんな元気に「頑張ろうー」三唱して準備を始めた。何とそれ以降は奇跡的に雨が止んだのです。

準備も終わり夕方になると、雨上がりを待ち、楽しみにしていた踊り子、子どもたち、家族連れやカップルが集まってきて、「みんなのひろば」も無事にスタートすることができました。

まず我々YEGのメンバーが催したブースを振り返ってみると、昨年同様の盛り上がりで、ポップ



コインや綿菓子やジュースが順調に売れていきました。水鉄砲、おもちゃやくいやすマートボールは、まつりの終わる直前まで列ができるほどの盛況ぶり、子どもたちの「もっとやりたいよー」という表情が強く印象に残っています。



天候のせいで客先の足が鈍るかと思いましたが、メンバーの必死の呼びこみや北海道大学「緑」の方々の強力なサポートもあり、各ブースは大変盛り上がり、フェニックスまつりに大きな花を添えることができました。

最後、集計をしてみると売上も昨年にも迫る勢いでした、Y.E.G以外のブースもこれまた大盛況で、特に福井大学のフェイスベイント、楽放課後学校の工作はお客さんが途切れないほどの盛況ぶりでした。心配された雨も遂に最後まで止んだままで、心は晴々と、気持ち良くまつりを終えることができました。

何よりもY.E.Gメンバーの催しの成功への強い思い、団結力が雨上がり沢山のお客さん呼び寄せたのだと思います。またひとつの夏の思い出が増えました。皆さん、お疲れ様でした。

【取材担当：海道雅俊】

8月度例会

26日(水)、福井商工会議所地下ホールにてビジネス戦略委員会による8月度例会が開催されました。「人が育つ企業環境づくり〜人材育成に関する課題解決を目指して〜」と題して人材育成をテーマに坂田守史副委員長の司会進行でスタート。



原稿作業では取材の前にうまく書くとうとせず、自分の思いを書くのではなく、聞いたこと見たことをありのままに書くことが重要であること。間違ったことを書くことに対して批判を浴びることになるといった厳しさ。その反面、どんなに有名な方でも対等に振舞ってくれて、時間を割いて話ができるというやりがいを感じられることなどを講師の方が強調して話をしてくださいました。講師の質問で「何故、新聞記者の体験を選んだのか?」という問いかけに、ある子供が「かっこいいから。」と答えていたことに印象を受けました。なぜなら、世間では給料が良いとか休みが多いとか楽そうとか華やかだとかで仕事を運びがちですが、どの職業でも一生懸命、笑顔でいきいきとやっていると、どんなにつらい、地味な仕事でもかっこいいと感じるのではないかと、我々大人達が失ってしまっただけな感覚を再認識できました。

今回の「えきまえアントレ・キッズ2009」を通じて、子供達や保護者、事業担当者、そして福井Y.E.Gメンバーの思いや考えは様々ですが、少なくとも何かひとつくらいは心の中に全員がもって帰れたと思います。その証拠にみんながスマイル。うーん、アントレ・キッズは奥が深いなあ…。

【取材担当：朝田健一】

9月度例会

14日(月)19:00よりA.O.S.S.A(アオッサ)6階にて、資質向上委員会が担当の9月度例会「古(いにしえ)の福井食から、歴史と風土を知る。」が開催

第一部のケーススタディでは高木秀樹副会長が自身の経歴、その中で創業者オーナーと後継者オーナーの思考、行動のギャップに悩んだこと、また承継後経営や人材育成の転換を図ったことを発表しました。

第二部では1テーブル4〜5人、7つグループに分かれ、担当委員会委員のコーディネーターの進行のもと各グループでテーマを絞り、テーブルディスカッションを行いました。私たちのグループは創業者・後継者の違いや、社員数が多い・少ないなど環境が違うためにテーマをしぼることが難しかったのですが、付箋に悩みや問題点を書き込んで発表していくことで、お互いに理解し合え難しかったのですが、付箋に悩みや問題点を書き込んで発表していくことで、お互いに理解し合え

それに対してどう解決していくかをグループで話し合い、その作業の中で創業者オーナーが後継者オーナーに感じたこと、年齢や立場の違いなど、自分の立場では知ることのできなかったことを話し合うことで新たな発見もできました。



ディスカッション後の結果を各グループがプレゼンテーションし、部下や社員に対して何かを求めることよりも、オーナーとしての資質が大切だということを発表しているグループが多かったように思います。それぞれ立場、環境が違っていても、経営者の想いは共通なのだということも認め

されました。

会長挨拶の後に鯖江Y.E.Gによる創立30周年記念大会のPRが行われました。「温故創新未来へ創造!そして、前を向いて歩こう」というテーマを掲げ記念式典・事業・大懇親会が開かれます。特に大懇親会が見ものとのこと。非常に楽しみです。

その後、浅田クッキングスクールの校長浅田容子氏を迎えて、ご講演をいただきました。最近では福井の郷土料理をもとにした料理の開発や料理講習会などで新聞や雑誌などのメディアでも活躍中の浅田先生。私も食を扱う仕事をしておりますので、非常に興味深く拝聴いたしました。

お話の内容は、季節の食材と料理の意味や、地方料理の由来、食品の栄養のことや食育、節目の御料理のことなど料理全般、多岐に渡ったお話でした。お父さんと子供の料理教室「パズクッキング」や「ハレの日には美味しいものを、普段は粗食を」の意味、完全食品としての胚芽ご飯、豆の話し、田舎の話などじつさい食事をいただきながらのご講演でした。



以下が当日いただいた御料理です。バランスが取れて、昔からあるお料理です。

- 1. 油揚げご飯 2. 福井の呉汁 3. たくあん煮物 4. 飛び付き団子

講演後は隣の調理実習室に場所を移し実習です。作るのには「お慈ときゅうりのからし味噌和え」と「すこ」です。皆、ワイワイ言いながら楽しくやっております。私の班も楽しくやったのですが…

識した素晴らしい例会でした。

【取材担当：景山直恵】

えきまえアントレ・キッズを開催

29日(土)、ビジネス戦略委員会が中心となって、「えきまえアントレ・キッズ2009」を福井駅周辺の各商業施設16社と福井Y.E.Gから2社(廣部硬器・米澤物産)を合わせて合計18社の協力で開催しました。

小学生の参加人数は午前が86名、午後が79名で、それぞれの事業所に1〜8名に分かれて各事業所の講師の方から手ほどきを受けました。当日は天気もよく、子供達の怪我や病気もなくスムーズに進行。



最初、響きのホールで保護者の方と一緒に受付、続いて開校式を行いました。子供達の表情は少し緊張気味でした。開校式後それぞれ希望の体験先へ移動。実際の店舗で業務体験を行い、開校式をして解散した後にはみんな晴れやかな表情で、達成感が感じられました。

私の引率した福井新聞「まんなかプラザ」では「新聞記者に挑戦してみよう!」という事で、実際に「G.Cook」という所でお店に取材をし、それを原稿にするといった作業を行いました。取材の際どういった質問をするのかあらかじめメモをとったので最初、子供達はメモを見ながら質問をしていたのですが、話すことがなくなるとその場で考えて質問するのに苦労していました。

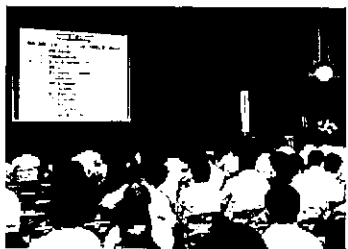
「すこ」の味がいまいちで…。結局残してしまいました。

浅田先生、本日はたくさんさんの知識と気づきをいただき本当にありがとうございました!!

【取材担当：天野準一】

近畿ブロック大会 八尾大会に参加!

9月26日(土)、大阪府八尾市に於いて第27回近畿ブロック大会八尾大会が八尾Y.E.G主催で開催。当Y.E.Gも26日〜27日の1泊2日の日程で26名が参加しました。



ハイウェイビジネス交流会

3日(土)、滋賀県長浜市に於いて長浜YEG主管の第10回ハイウェイビジネス交流会が開催されました。ハイウェイビジネス交流会とは高速道路である「北陸道」「東海北陸道」「名神高速」を結び、ちよと円の形になる地区のYEG単会が集まって情報交換することにより、より広い視野でビジネスに発展させようという事業。今回で10回目の開催となりました。



【取材担当：天野準一】

今回の出席者は、堀田直前会長、村中相談役、山本副会長、菊池連任理事、藤井副委員長、佐々木委員長、私天野の計7名。9:30に福井駅改札前に集合。電車に乗り一路長浜へ。11:00に現地入りし受付を終えました。式典開始まであと4時間。何をやるか悩みます。今回、長浜市中心街の黒壁スクウェアでは「第23回長浜芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマ」が開催されていたので、そちらを視察しました。スクウェア内の通りに、所狭しと並んだ「アートマーケット」では、作家さんや団体が製作したガラスや陶器の作品が並び販売されていました。作り手さんが自分の製作した品物を説明しながら、値段交渉しながらとなかなかよい雰囲気でした。昼食後、ガラス体験工房では、皆でガラス容器へのサンドブラスト体験を受講。最初はワイワイガヤガヤと賑やかでしたが、工程が進むにつれ皆無口になります。1時間半後、各々、思い思いの作品が完成！性格が違いますね。良い時間になり式典会場へ。滋賀県連会長大崎裕士君の挨拶、主管であります長浜YEG会長野坂大介君の挨拶の後に、株式会社ロフト取締役相談役 安森健氏の講演会「はたらくっておもしろい！」が行われました。スモールでローカルな会社が生き残るお話・既存のお客様へのアプローチで充分商売をやっているお話。転換期にやることは二つあるというお話など大変濃厚な内容のお話を淡々とされ、皆一様に興味深く聞いておりました。講演会終了後は大懇親会へ。各単会の会員が完全に別々のテーブルに着くように席決めがされており、それぞれいろんな方との異業種交流ができました。楽しいレクリエーションも繰り広げられ、心地よい満足感の中夜が更けてゆきました。

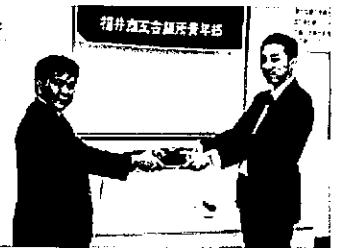
9日(金)、福井商工会議所ビルに於いて今年度入会した新入会員を対象とした新入会員オリエンテーションを開催しました。現会長の挨拶にはじまり、YEGの目的や特徴なんかも踏まえながらより分かりやすく、より丁寧に説明していただきました。その次に村中監事による日本YEG出向役員等の説明がありました。ここまできますと新入会員の方達はだんだん顔が理解に苦しんでいきました。今回は全19教室、講師企業全21社という大規模なもので、さらには福井YEGだけでなく、PTAをはじめとする地域の企業の方も講師として参加していただき、今までにない新たな試みがなされました。児童達にとって、自分のお父さんやお母さん、または身近にいる大人が実際に仕事をやっているところやその内容について触れることができ、事業の効果がより一層高まったのではないのでしょうか。講師企業としては、福井YEGから(株)ウエマツ、(株)クリーニング白洋舎、堀田製作所、(株)宮永不動産、岡山部品(株)、(有)Lab.Lab&(株)竹下印刷所、(有)アサダモーターズ、松田社会保険労務士事務所、(株)ソニック、ワシタ設計事務所、清川メッキ工業(株)、(株)クレド、天たつ、(株)ユウシユウ、(株)みずもと&パースティック(株)、北陸ミサワホーム(株)の計18社。PTAをはじめとする地域企業からは(株)福井銀行木田支店、パン工房ポレボレ、(株)生田建設の3社の事業所が参加しました。今回は例会として全体事業での開催という点をふまえ、講師以外で参加の会員は、各体験教室で行われた内容の審査を行い、それをもとに今後自分自身が講師として参加する場合の内容について企画書を作成しました。これにより福井YEGの組織全体におけるアントレ・キッズへの取り組みについてベラスアップとつながるのではないのでしょうか。個人的なところでは、今回は弊社の従業員もア

新入会員オリエンテーション



【取材担当：天野準一】

堀田直前会長による新入会員の方達とのクイズ形式のディスカッションで場は最高潮に盛り上がりついに。我々でも普段耳にしないような規約の中からも出題されていましたし、かなり内容の濃いクイズに仕上がっていたと思います。これを機に新入会員の皆さんが一人でも多く福井YEGに触れて頂けることを願っております。



【取材担当：工藤紀昌】

福井YEG創立35周年記念大会開催

31日(土)、福井商工会議所ビルに於いて、新入会員を中心とする実践・実行委員会が担当となった福井商工会議所青年部創立35周年記念大会を開催しました。内容は、式典・記念講演・記念パーティー。式典は緊迫した雰囲気の中、力強くそして確実に持続的な成長をしてきた福井YEGの原点を垣間見られました。特にオリジナルのオープニングビデオと各副会長が壇上に並んでの開会宣言は圧巻でした。また、フリープロデューサー茶谷幸治氏をお呼びした講演会では「郷土の誇りを活かしたまちづくり」についてお話され、参加者は非常に有意義だったと思います。その中で、郷土を誇りに思うにはまず一人一人



【取材担当：天野準一】

11月度例会 アントレキッズin豊小学校

7日(土)、市内の豊小学校にて、ビジネス戦略委員会が担当となった11月度例会「アントレ・キッズin豊小学校」を開催しました。



【取材担当：驚田裕之】

が自分の住むまちに誇りを見つけ、まちを観察して好きになり、関心を持たなければならぬということ、そしてそのためにまちを歩くことをはじめよう、とおっしゃっていました。その後のクロストークで特に印象に残った言葉は、「やると決めたら命を懸ける」です。命を懸ける思いでなければ成し遂げる事は出来ない、そのくらいの覚悟をしなければいけないということです。記念パーティーでも、メンバーは一丸となり経営・運営をおこない、また来賓やOBそして他単会の方とも、今まで以上に親睦を深められたのではないのでしょうか。飲食関係の会員企業が地元食材で調理したオリジナル料理のコーナーは、開始まもなく完食となる好評ぶりでした。また、各委員会が実践・実行委員会メンバーともに行なった各アトラクションは、まさにおもてなしの心と、これまでの感謝、そしてこれからの協力が随所にみられるものだったと思います。

【取材担当：驚田裕之】

今回は全19教室、講師企業全21社という大規模なもので、さらには福井YEGだけでなく、PTAをはじめとする地域の企業の方も講師として参加していただき、今までにない新たな試みがなされました。児童達にとって、自分のお父さんやお母さん、または身近にいる大人が実際に仕事をやっているところやその内容について触れることができ、事業の効果がより一層高まったのではないのでしょうか。講師企業としては、福井YEGから(株)ウエマツ、(株)クリーニング白洋舎、堀田製作所、(株)宮永不動産、岡山部品(株)、(有)Lab.Lab&(株)竹下印刷所、(有)アサダモーターズ、松田社会保険労務士事務所、(株)ソニック、ワシタ設計事務所、清川メッキ工業(株)、(株)クレド、天たつ、(株)ユウシユウ、(株)みずもと&パースティック(株)、北陸ミサワホーム(株)の計18社。PTAをはじめとする地域企業からは(株)福井銀行木田支店、パン工房ポレボレ、(株)生田建設の3社の事業所が参加しました。今回は例会として全体事業での開催という点をふまえ、講師以外で参加の会員は、各体験教室で行われた内容の審査を行い、それをもとに今後自分自身が講師として参加する場合の内容について企画書を作成しました。これにより福井YEGの組織全体におけるアントレ・キッズへの取り組みについてベラスアップとつながるのではないのでしょうか。個人的なところでは、今回は弊社の従業員もア



【取材担当：天野準一】

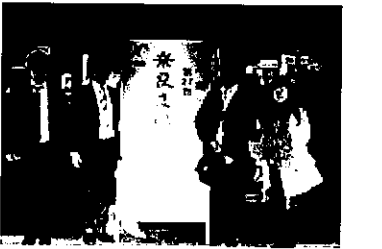
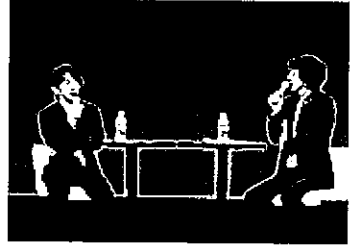
第27回全国会長研修会 奈良まほろば会議

27日(金)～28日(土)に奈良県文化会館にて開催された第27回全国会長研修会 奈良まほろば会議に、水元会長をはじめ計4名で参加しました。当年度会長、次年度会長予定者、熱意ある会員と担当事務局を対象に、当日は334単会、1,410名と過去最大規模の参加となりました。基調講演では、エイベックスグループホールデ

【取材担当：佐々木俊一】

インクス(株)代表取締役社長の松浦勝人氏が講師を務め、コーディネーターに東京プリンの伊藤洋介氏を迎えてトークセッションが行われました。テーマは「エイベックス創業者が初めて語る「リーダー論」」。

エイベックスはダンスミュージックの貸レコード専門店として15坪の店舗からスタートしたそうです。創業のきっかけについて、これまでのエイベックスが築きあげてきた音楽界をはじめとする業界での功績、現在の地位まで語り詰めたお話しなど、普段聞くことができない話がたくさん展開されています。中でも印象強かったのは、テーマに



あげられた「リーダー論」。「どんなことに対してでも「疑問」を抱き、質問すること、そしてその疑問に対する「答え」を見つけること。また、どの分野でも良いから、誰にも負けない知識・強みを持つことが大事。それが自分の好きなこととなり、徹底的に追求できることにつながる」とのこと。

松浦氏もダンスミュージックについての知識は誰にも負けないという思いがあり、この強い思いが、事業を進めていく中でのモチベーションの源泉となっていたそうです。また、今のリーダーに必要なだと考えることについては、「若い人の意見をしっかりと聞くこと。」「自分の言うことが正しいと自分を貫くことも必要だが、ゴリ押しで考えるのではなく、若者の意見をしっかりと聞き、取り入れていくことが、これからの時代必ず必要になっていく」と語っていました。

その後の研修文化会では、次年度会長、当年会長、

事務局と分かれて、会長としての役割や、若手国家公務員との将来の日本についての討論、青年部と親会との関係の在り方など、実になる研修内容がなされました。そして、1日目の最後は大懇親会。県連単位でも交流を今まで以上に図ることができ、有意義な懇親会になったのではないのでしょうか。

なお、2日目には会員総会として、次年度役員について満場一致で承認され、今後の日本YEGのスケジュールなどが発表されました。今回の研修会は、次年度会長はもちろん、当該会長や事務局にとっても大変刺激を受けた研修となりました。

12月定期総会

16日(水)19:00から平成21年度12月定期総会を福井商工会議所ビル地下コンベンションホールにて開催しました。

朝田君司会による開会宣言、景山君による綱領朗読・指針唱和により厳かに開会。始に水元会長が挨拶。

「われわれは100年に一度の不況と一緒に乗り越えようとしている仲間である。今年の世相を現す新という文字には未来への希望を感じる。次年度の基本方針をみてそのすばらしい内容に楽しくやりのある次年度になりそう。」と次年度、そして未来への希望を話しました。

その後、新入会員の北嶋さおり君、山形悠君の紹介とバッチ・会員手帳の授与が行われました。総会の出席者数が43名と定数を上回ったため議案にう



つります。議長に伊藤洋一君が任命されて、肅々と議案の承認を進めます。

第一議案 平成22年度青年部役員承認の件
第二議案 平成22年度基本方針承認の件
第三議案 福井商工会議所青年部会規約、規定見直しの件

以上、会員の拍手をもって可決承認されました。次に先程承認された次年度会長山本清美君の挨拶。

「次年度のことを思うと非常に不安です。頭の中が青年部の事でいっぱいですが、しかし、元会長をはじめ、先輩会長の皆さんは皆こうして自分を磨いてきています。先人のよき歴史を受け継ぎ頑張りたい。」と決意を表明しました。



最後に委員会報告が行われました。資質向上委員会の松田委員長からは22日に開催される12月例会の案内。実践実行委員会の山口委員長からは来月17日に開催される1月例会案内。以上で滞りなく12月定期総会は閉幕しました。

【取材担当：天野準一】

12月例会

22日(火)19:00から福井商工会議所にて資質向上委員会による12月例会を開催しました。

テーマは「漢字から歴史習慣を知る」。ボランティアで白川文字学の普及に貢献されている福井県税務務所丹南県相談室長の吉岡栄雄氏を講師に迎え「白川文字学の世界への誘い」の講演を聴聞しました。

漢文学者・古代漢字学の学者であり福井出身で

1月度例会(冬レクリエーション)

17日(日)13:30から佐佳枝神社・ホテルフジタ福井にて実践・実行委員会担当の1月度例会(冬レクリエーション)を開催しました。

今回は冬のレクリエーションで家族参加例会の為、子供も含めて80名超と参加者の多い例会となりました。水元会長の挨拶で幕を開きます。

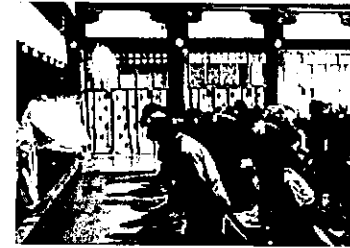
次にお隣の佐佳枝神社に移動し、ご祈祷を受けます。非常に厳肅な雰囲気の中、ご祈祷は無事終了しました。そして、お楽しみ懇親会の始まりです。山口委員長から説明があり、フォトフレイム作り、餅つき、そばうちが体験できるアトラクションが用意されておりました。どこのアトラクションも人垣ができるような盛況ぶりです。大変盛り上がりつつありました。

その後、豪華な食事が運ばれてきて、皆一様に満足そうな表情を浮かべておりました。

皆のお腹が落ち着いたところで、景品をかけてゲームが始まります。メンバーの顔で作った福笑い。ほとんどの方の顔が崩れており、個人的にも非常に面白おかしいゲームでした。

最後に山本次年度会長より「家族の助け合っってのYEG活動であります」と言う言葉をいただき一発締めで今例会は幕を下ろしました。

【取材担当：天野準一】



2月例会(県連会員大会)

6日(土)13:10から小浜市のアプロテイル華双寿にて「第26回県連会員大会 小浜大会」が開催され、2月例会として福井YEGからも20名で参加しました。

外は強風が吹き荒れ、身も震える状態でしたが、会場内では小浜YEGの方々から温かいおもてなしを頂きました。

13:10から記念式典が行われ、まず、我が清川県連会長が挨拶。「五感」と「危機感」をテーマに身近な事例を引用しながら話をしていました。式典終了後は3つの分科会が行なわれ、福井YEG会員の大半は第2分科会に参加。まず、御食園(みけつくに)若狭おばま食文化館へ移動して伝統工芸体験である箸の研ぎ出しを行いました。が、以前の体験があったおかげで皆様手馴れた手つきで一心不乱に研いでいました。

その後、小浜水産高校の小坂先生のご指導のもとクッキーの缶詰作業を行い、いろいろな形のクッキーを作り、焼いて、そして缶に入れてふたを閉めてといった工程でしたが、時間があっという間に過ぎてしまいました。

式典会場に戻って大懇親会が行われ、その中、小浜YEGからの余興の際に「福井YEGの水元会長ここにあり」とアピールできた気がしました。会場の中は外の強風に負けないくらいの大盛り上がり風が吹き荒れていました。

【取材担当：佐々木俊一】



自分の町をもっと深く知り、好きになるためにこの「町歩き」は企画されました。
 今回私天野準一の生まれ育った「片町」に在ります古い歴史をもつ商店4店舗にスポットを当て、あまり知られていない逸話、物語などをそのお店を通して取材してまいりました。
 町への興味、歴史への興味を持っていただき「町歩き」に参加してみようと思っただききっかけになればと思います。

錦梅堂

弘化4年(1847年)創業の和菓子屋さん。
 現在は片町のメインストリート沿いに店舗がありますが、江戸の時代はここ片町はまさに字のとおり、片側がお堀に面し、商店や民家が立ち並ぶ通りであり、ちょうど現在の錦梅堂さんの位置はお堀に当たります。江戸の当時は現在の照手のあたりにお店を構えていらっしゃったそうです。ここで一話。

現在の錦梅堂さんの裏の道を「馬場通り」と言います。江戸の時代は封建の世で、士農工商のもと身分が厳しく分けられておりました。

そんな中で年に一度だけ町民が武士を痛い目にあわせることのできる行事がありました。それが「馬膺し」です。

「馬膺し」という行事は、街中を馬に乗った武士階級の人たちが走り抜け、その馬を道の両側から町人が太鼓を叩いたり声を出してはやし立て、馬を興奮させます。その暴れ馬から落馬しない武士階級の方が、武勇があると皆から褒め称えられたそうです。

その「馬膺し」が行われていたのが錦梅堂さんの裏手の道になります。馬場通りから九十九橋のたもにかけてでした。

この、「馬膺し」ですが、かの有名な由利公正公(福井藩士、初代東京府知事)もこの「馬膺し」に挑まれたそうです。ほとんどの武家階級の方が落馬する中、由利公正公だけが落馬せずに走りぬき武勇を褒め称えられたとのこと。なにか事を起こす人は、いろんな面で他の人よりも秀でているのでしょうか。

ちなみに錦梅堂さんで販売しております「羽二重餅」は「羽二重」(絹織物)のようにつややかで柔らかい餅菓子ということで作られたのですが、この羽二重(絹織物)をヨーロッパより持ち帰りましたのも由利公正公で、そこから福井の一大産業として発展したと言われております。



金津屋

貞享2年(1685年)創業の老舗のお茶屋さん。
 昭和の初期頃までは現小鳩幼稚園のあたり一帯が金津屋さんの茶畑で、そこでとれたお茶を永平寺や一般の方に販売しておりました。

今現在ではお取引はないとのことですが、金看板「永平寺御用達」のはしり的存在であったのではないのでしょうか。

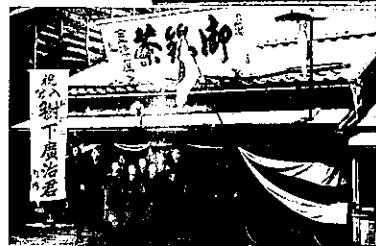
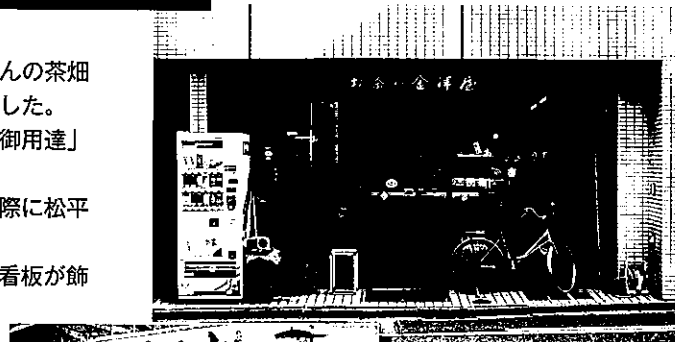
金津屋さんは旧福井藩主松平家に品物を納めており、その際に松平家より頂いた家紋を今でも受け継がれております。

店内に入りますと、すぐ左手に杉の一枚板で作った大きな看板が飾ってあります。

福井大震災後に立て直したお店の看板であったということで、外におきますと雨風でだめになってしまうので店内に飾っておいてあるとのこと。

その大看板にも、「〇の下にいちもんじ」の家紋が彫ってあります。

昭和から平成へと激動の時代を見守ってきた大看板が、今も静かにお店を見守っているようでした。



国嶋清平商店

永正17年(1520年)創業という、今回取材した中で一番の老舗でした。

今現在は、糺、お味噌、漬物材料を販売していらっしゃいますが、その昔は紙を扱われたり、醤油を醸造して小売販売をしたりと、時代時代にあわせて商売を変えてこられたとのこと。

国嶋清平商店さんが在る地域を昔からの通称で「一乗町」(地元では「いちちょまち」と言います。

その昔、織田軍によって攻め滅ぼされた朝倉家はかろうじて生き残った人たちが一つの集落をつくったといわれております。それまで住んでいた一乗滝を思い、その地域のことを一乗町と呼びました。

その一乗町の名家であります国嶋家に当時の朝倉家の三女が嫁いできたと言ひ伝えが残っているらしいのです。

現当主国嶋氏は朝倉家の末裔でいらっしゃるということですね。錦公園の北側入り口にありますが碑には一乗町という名前が載っております。また、国嶋清平商店さんの庭に井戸があり、昔からやけどに効くと言われており遠くからわざわざ水を買ってくる人が多くいらしいです。

現当主の四代前になられる方が非常な文化人であり、小浜藩の梅田雲浜や、橋本左内ら要人たちがお茶を飲み訪れていたと言ひのことです。

現当主国嶋氏のお顔を拝見しますと、非常に温厚そうな表情のなかにきりりとした目があり、これが名門朝倉家の血か、と改めて見なおしてしまいました。



天たつ

創業文化元年(1804年)の汐うに屋です。

江戸の時代は旧福井藩主松平家の御用商人をおおせつかっており、福井藩の魚介類を一手に取り扱い、他藩への販売などをおおせつかっていたと聞いております。

創業より数えて三代目になります天野五兵衛が当時の藩主松平様より、「軍事用の携帯食として、保存がきくウニの食べ物を作るように」とおおせつかかり開発しましたが、今も変わらぬ製法で造ります「越前仕立て汐うに」でございます。

ここで逸話がございます。

当時お城へと品物を納めに行くのにお店で丁稚をしていた小僧が持つていくのですが、新米の丁稚になりますとお城へ行っても場所がわからず迷子になることが良くあったらしいのです。

ある日、品物を納めに行った丁稚がなかなか帰ってこず心配していると、お城の門番がやってきてこう言いました。

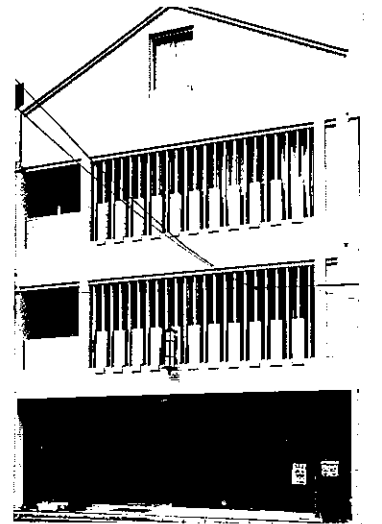
「天たつの小僧が狼藉を働いたため、お城の牢屋に閉じ込めてある。引取りに来い」

驚いた当主は早速お詫びの品物をもち引き取りに行きますとすぐに返してくれました。小僧がうろろろ迷っているところを捕まっしてしまい、牢屋に入れられたとのことでした。

それからそういうことがたびたび起こるようになったらしいのです。

そのたびにお詫びの品物を門番に渡して、小僧を返してもらっておりました。

その頃の門番をしているような武士は酒の肴もろくに買わずにいたらしく、天たつの小僧を見つけては牢屋に放り込み、酒の肴にありついていたのです。



朝起きて
いつも気になる
支払日
T

代表の
取り縮まれ役
社長です
S

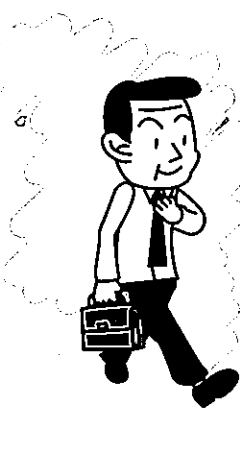
この不況
目をまわせずに
金まわそう
K



人材は
8割ほめて
育てよう
T

すぐ帰る
従業員は
梅雨もよう
T

社長との
会話は家でも
丁寧語
K



不景気と
言われてもなお
片町へ
Y

領収書
土下座したら
換金のK
M

コラボしよ
どこもかしこも
他社だのみ
H

ありがたし
アレやコレやと
父の声
A

跡継ぎに
継がせたくない
この借金
I

助成金
不況の今こそ
起業せよ
Y

労災失業
保険もきかない
私たち
S

昨日休み
今日も休みで
明日休み
S

交際費
俺のカカアが
握ってる
M



明日には
風はごつちに
吹いている
S

活かすのは
金融ではなく
技術資産
K

安けりやい
そんな風潮
くそくらえ
Y



数字見て
妻の顔見て
ごめんなさい
M

子供より
家にいる日が
長くなる
S

大連休
家族サトビス
足羽山
K



持つてるけ？
熱いビジョンと
志
K

汗かいて
未来の福井の
ためになる
K

YEG
不況の中ほど
団結力
Y

平成21年度を振り返って

総務・渉外委員会



委員長 佐々木 俊一

総務委員長という職務がいかなるものなのか・・・それを身をもって思い知った一年でした。

年間スケジュールを一見しただけでは到底つかみきれない仕事がそこには待ち受けていました。朝は事務局の神谷君の電話で一日が始まり、夜は神谷君の電話で一日を終える。着信は神谷、仕事、神谷、神谷、仕事、妻、神谷、・・・そんななか、いつの間にかこのろの恋人となっていた神谷君(笑)少しはお役にたてたでしょうか？

年度当初、裏方の仕事をしっかりとこなしながら、会員の皆さんに積極的に働きかけていく「アグレッシブな総務・渉外委員会」を目指すという意気込みでしたが、振り返ってみると、今年は夏祭りも担当させていただき、今年は夏祭りも担当させていただきましたし、どちらかといえば「フレキシブル

実践・実行委員会



委員長 山口 広征

今年一年を振り返ってみると(思い出したくない程)本当に大変な一年でした。

新入会員の委員会でありながら三十五周年を担当する事になり最初はどこから手を付けていいのか分かりませんでした。4月度の委員会では総務の佐々木委員長に来て頂きエンジェルタッチの使い方から規約・心構えなど簡単なオリエンテーションを行いました。

その後の委員会でも、6月度例会の企画をしながら過去の事業を振り返り「YEGとは何ぞや」という事を勉強してまいりました。心強いパワフルな副委員長のメンバーにも支えられ私自身も大変勉強になったと思えます。

7月頃から本格的に三十五周年の事業に着手し、その頃から新入会員のメンバーからも活発な意見が出てきて段々と委員会がひとつにまとまっていくのを感じました。一月度例会は殆どの仕切りを新入会員が考え実行し、委員会としての成長を嬉しく思います。今思えばあの三十五周年が無かったらここまでの充実感は無かったと思います。

この節目に担当委員会の委員長をさせてもらった事、未熟な私にいろいろ教えて頂いた青年部の皆様、そして素晴らしい委員会メンバーに心から感謝致します。ありがとうございました。

ビジネス戦略委員会



委員長 米澤 稔喜

当委員会では、サブプライムローンを発端として巻き起こった、世界同時不況の最中、ビジネスを中心とした、本当に会員の皆様にビジネスの役に立つような事業を、年間を通してやっていくと胸に秘め、活動をしてきました。五月度例会では、代議員総会との同時開催という事で、講演会には福井にも所縁がある、ブックオフコーポレーション(株)の取締役会長、橋本真由美氏をお招きして、「最強の現場の創り方」というテーマでご講演頂きました。当委員会として初めての例会で、代議員総会と同時開催という重役を担うことができたという事は、非常にいい経験をさせて頂きました。八月度例会では、橋本会長の講演会のアンケート結果から、現状課題として「優秀なスタッフが不足している」や「経

な総務・渉外委員会」だったのではないかと感じています。前年度、淡々肅々と職務をこなしていた今井委員長(しかしその背中にもめらめらと燃えるアグレッシブの炎は私に見えました)をお手本に一年間活動してきました。今井前委員長には、何度もデータをいただき、質問にも懇切丁寧に答えていただきました。決まっていた職務が多い分、その引継ぎが重要になるのも総務の特色だと感じています。また、大雑把で細かい作業があまり好きじゃない私が(おかげさまで量稽古させていただきました)どうかこうにか委員会を運営できたのも、副会長、副委員長、委員の皆さんのサポートがあったからに尽きます。特に総務の職務は各作業をメンバーに押し付ける(？)ことが多くなります。そのことを心苦しく思っていた私に、「委員長はしなくていいから、もつと全体を見てよ」と言ってくれたその言葉に、お願いしたこと以外の作業までこなしてくれたその行動に、とても救われました。感無量です。

最後になりましたが、一年間、総務・渉外委員会委員長という要職において、勉強の場、稽古の場を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

環境の変化に人材育成が追いついていない」という回答が見られた事から、人材育成及び企業環境づくりにスポットをあて、青年部会員企業の人材育成方法や育成に関する現状課題などをグループディスカッションしました。結果的に、人材育成方法で最も有効な手法は・・・アントレキッズの講師をする！という事が判明し、この例会では改めてアントレキッズ事業の重要性を再認識できました。そして、同じく八月に駅前アントレキッズ、十一月度例会では、豊小学校アントレキッズを行いました。駅前アントレキッズでは、私も初めて講師として参加し、子供達に学んでもらうはずが、私自身が子供達にいろいろ勉強させて頂きました。本当に講師として参加しないと分からない、非常に貴重な経験をさせて頂きました。来年も私としては、日程上問題なければ、是非また講師をさせて頂きたいと思っております。豊小学校では、学校・PTA・福井YEGと三位一体となって事業を行いました。また、今回は去年のアントレキッズよりも、進化させたいという思いから、豊小学校の地域企業に依頼し、講師をして頂きました。地域・学校・PTAを巻き込んだ、まさに地域一体となつての教育というものの、第一歩を踏み出したのではないかなと当委員会では思っております。

資質向上委員会



委員長 松田 将裕

られ、助けられながら、ここまで来る事ができました。本当にありがとうございました。最後にありますが、当委員会の事業に参加して下さった会員の皆様、お力添えを下さった皆様、一年間本当にありがとうございました。

平成21年度の資質向上委員会の委員長を務めさせていただきました松田でございます。

初めての委員長職ということで戸惑うことも多かったのですが、5人の優秀な副委員長を始め、多くの会員メンバーの方々に支えられ何とか1年間を乗り切ることができました。今年度の委員会では「伝統・文化・芸術にふれ豊かな心をつくる」ことを目的に行ってまいりましたが、私の力不足からか、十分に「思い」を伝えきれなかったのではないかと反省しております。

しかし、委員長としてなにもものにも代えがたい貴重な経験をさせていただきました。会員のみならず、1年間支えていただいた本当にありがとうございました。

次年度会長抱負



平成22年度会長

山本 清美

私は平成16年、ちょうど福井商工会議所青年部創立30周年の時に、入会させていただき、今年で6年目を迎えます。入会して今まで、YEGが縁で出会った素晴らしい多くの仲間ができて、YEGでしかできない貴重な体験をさせていただきました。しかし、まだまだ未熟な私が平成22年度会長という職務を仰せつかり、重責に押しつぶされそうなおもいでございますが、22年度に向けて、素晴らしい仲間とともに愉しく、より心の絆を深めていく1年にしたいと思います。

さて、今なお中小企業を取り巻く環境はたいへん厳しい状況が続いております。このような状況の中、私たち青年経済人は、既成概念に囚われることなく、しっかりと自分の生き

方や地域社会、自企業の社会での役割を再確認すること、そのためには「精神的な支えとなる柱」となるべき「中心軸」を持つこと、固めていくことが必要だと考えます。

そこで平成22年度は、探す楽しみ、出会う喜び「魅力発信きらり☆YEG」をスローガンに個人・企業・地域の「魅力」を発見し、感動し、どう生かしていくか、どう輝き続けていけるかを深く考え、勇気と情熱を持って実践・発信・活動してまいります。

私自身、微力ではございますが、これまで先輩方が築き上げてこられた良き伝統を守りながら、平成22年度青年部活動に邁進していく覚悟でございます。YEGメンバー皆様のご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

YEGで

☆輝きましょー!!

平成22年度 福井商工会議所青年部 組織図



総務・渉外委員会

委員長 松田 将裕



平成22年度の総務・渉外委員会の委員長を仰せつかりました松田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

お願い申し上げます。

さて、総務・渉外委員会といえば、YEG会員のすべての管理を預かる、YEGの要といえる委員会です。

歴代委員長を顧みても優秀な方ばかりで、私とその重責を果たせるのかどうか、正直、不安な面もございます。しかし、受けたからには、必ずやり遂げてみせようと考えております。幸いにも来年度も優秀な副委員長、会員メンバーに恵まれ、彼らとともに「YEG活動」をしっかりと支えて行きたいと考えております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

地域づくり委員会

委員長 山口 広征



平成二十二年度、「まち地域づくり委員会」の委員長を拝命致しました山口です。宜しくお願い致します。

致します。

当委員会は昨年度に行われた三十五周年事業での「誇り溢れるまち地域づくり宣言」をさらに発展させて他の団体と協働し、地域のコミュニティを強化していきます。何を求められているのか、何をすべきか、何が出来るかを考え「YEGらしさ」を求めて一年間活動して参ります。そしてまち地域の魅力(宝)を探し、福井の、YEGの魅力を外に発信出来るような事業を展開していきます。

きつと楽しい委員会になると思いますので皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

アントレプレナーズ委員会

委員長 北出 慎吾



今年度「アントレプレナーズ委員会」を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

この委員会では、近い将来の福井を代表する若手経済人となる人財の輩出及び更なるビジネス発展のため、ビジネスチャンスにつながる様々な仕掛けを行い、共に自己研鑽し、ひとりひとりが青年経済人として誇り高き人材となるような委員会づくりを提供します。福井YEGの更なる発展に今年度を変革の年と位置付けています。

目の前に出てくる壁には、乗り越えられないものはありません。乗り越えられるからこそ、自分の目の前に現れるのです。目の前の壁は未来を切り拓く扉。さあ、一緒にビジネスの扉を拓きましょう。

ビジネス交流委員会

委員長 藤井 紀光



二度目の委員長、一度目の反省点「前に出す結果、委員会メンバーの力を活かすきれなかつた」を踏まえ、前にながら後ろへも下がる委員長というスタイルで一年間活動しようと思っております。

委員会の職務は、ビジネスベースの交流をキーワードに新規事業を企画実施していきます。新規事業として会員企業と会員企業を結びつけ共同開発の新商品や新サービスを企画（開発）販売まで行いたいと思っております。目標は新商品・新サービスを多数創出し、福井YEGの商品群としてブランド化、販売ルートから販売方法に至るまでの仕組みを構築していき、会員の満足度の向上と会員拡大につなげていきたいと目論んでおります。また、楽しむ海外研修もしくは学ぶ海外研修を企画いたします。

1年間会員の皆様には無理難題や負荷をお掛けするかと思いますが、福井YEGのため、皆様のためと思いついていく所存でございます。どうか協力下さいます様お願い申し上げます。

資質向上委員会

委員長 松井 良平



入会して初めて配属された委員会が「会員フォローアップ委員会でした」8年たった22年度、

同じく「会員フォローアップ委員会」の委員長として新入会員のフォローを行えることを大変うれしく思っておりますし、楽しみでもあります。

年齢や職業も関係なくフラットな立場で、大いに議論できるYEG、そして共に汗をかき行動していくことがYEGの原点であると思っております。そのような同じ時間を共有する同期の仲間を増やし、次世代のYEGの核となるような人材を一人でも多く育てられるように1年間がんばっていきたく思います。また、委員長はじめ数人の委員会メンバーですが、基本は楽しく、入ってよかったなどと思えるYEG活動にしていきたいです。年度末には多くの仲間と共にいい汗をかきたいと思っております。

新入会員紹介



榊林不動産鑑定所 奥田 茂

この度、福井商工会議所青年部に入会させて頂きます。奥田茂と申します。

私は、福井市大願寺にて不動産鑑定業を営む株式会社林不動産鑑定所に勤務しております。当社は国や都道府県が行う「地価公示」や「都道府県地価調査」、「相続税・固定資産税標準地の評価」の鑑定評価をはじめとし、公共用地の買収評価、裁判上の評価、会社の合併時の資産評価並びに現物出資の評価、さらには不動産に関する総合カウンセリングなど多くの分野で仕事をさせて頂いております。これからのYEG活動を通して、多くの人との出会いを大切に、地域社会の発展の為、少しでもお役に立つことが出来るよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



株式会社キタジマ 北嶋 さおり

はじめまして。株式会社キタジマ 北嶋さ

おります。

福井市高木中央にて、冠婚葬祭用品の企画・製造・卸販売を営んでおります。昭和50年に創業し、今年で37期になります。

創業当時とは商品も変わりつつありますが、私たちは、荘厳な儀礼文化を大切に守りながら、且つ時代の変化と共に変わるニーズを捉え、常に創造していきたくと考えております。「人生最後を演出するという仕事は誇り高く、また大きな責任がある。」

YEGを通じ、もの見方や考え方を幅広く学んでいくなかで、私自身、その意義を常に意識し邁進していきたくと思っております。入会してまだ日は浅いですが、YEGの一員として、地域社会の一員として、自分の役割をしっかりと認識し、積極的に取り組んで参りたいと存じます。

YEGの皆様方には、これからもご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。



保険ショップ アルファ 北口 裕司

【事業所PR】

生命保険会社 20社・損害保険 7社を取扱う【保険ショップ アルファ】というお店をユース新田塚店内で運営しております。

お店ではご来店いただいた個人のお客さまにファイナンシャル・プランナーとして公的

制度のご案内・保険相談・資産運用などのアドバイス・ご提案をさせていただいております。

また、企業様向けに「強い財務体質」へのコンサルティングので、会員の皆様にもさまざまな情報を発信して行きますので、よろしくお願いたします。

【今年度の感想・来年度への抱負】

今年度過ごしてみてもの感想は、まだまだ少ししか理解できてはおりませんが、なかなか普段の仕事では経験できない事が、経験できる団体なので、来年度はYEGをさらに深く、いろんな経験をして、いっぱい吸収していきたいと思っております。



榊正午堂 宇野 俊之

YEGに入会して1年が過ぎようとしています。私の所属しました実践・実行委員会では1年目の委員会でありながら、35周年など大変重要な事業を担当する機会が何度もありましたが、委員会メンバーの高い結束力やスキルにより、どれもうまくいったと思います。少々ハードルが高いと思われた事業をクリアしていく度に委員会が一丸と成っていき、皆が確実にステップアップしていく様からは、久々に熱いものを感じる事ができましたし、自分もまだまだ成長しなくてはならないと、

実感しています。

さて、弊社は今立の小さな時計店から始まり、今年で創業117年になります。現在は県内に4店舗（今立、武生、福井駅前）に2店舗）ございます。時計・宝飾品については何でもご相談ください。ご用命だけでなく、修理だけでも大歓迎です。117年の実績に恥じないよう誠心誠意ご対応させていただきます。これからも、どうぞよろしくお願い致します。



株式会社エステイケー
島田 茂和

株式会社エステイケーの専務取締役の島田茂和といいます。

当社は、建設関係の柱の溶接・鉄板の切断・穴あけ、機械関係の架台等の溶接・機械加工など鉄・ステンレスを使用した製造を一貫して行っている会社です。

私が商工会議所青年部に入ったきっかけは、同業者同士の横のつながりだけでなく、異業種の方と交流する事によって自分の視野をもう少し広げてみたいという想いがあったからでした。

青年部に入ってから、いきなり35周年記念事業というとても大きな事業に携わる事になり、記念誌の編集など普段する事のない事

をいろいろさせていただく事ができました。どの活動も今まで体験した事がないものばかりで貴重な経験をさせてもらったと思っております。



山形商店
山形 悠

次年度もまだまだわからない事だらけですが、時間の許す限り青年部活動に参加していろいろな経験をしていきたいと思っております。

はじめまして、(株)山形商店の山形悠と申します。会社は福井市花堂にあり、事業内容としては金属スクラップ加工処理、解体工事、産業廃棄物処理などを行っております。

弊社の強みは上記の3つの分野を手掛けることで、お客様をより多方面からサポートさせて頂き、(コスト面など)メリットを提供できることだと思っております。また、公的な事業などにも十分対応できるように業務上の各種許可・資格関係もかなり力を入れて取得しております。

また私個人としてはどちらかと言えば女性の少ない業界で、女性ならではの視点と対応で、お客様に少しでも笑顔になって頂ければと思っております。

マリージョゼプログではスタッフの練習風景、講習風景など日々努力している姿も見れますので一度覗いてみてください。



マロダクト・マイスター
玉村 訓大

初めまして、株式会社プロダクト・マイスターの玉村訓大です。

弊社は、製造アウトソーシング企業として自動車部品から電子部品など、県内外のメーカー様の生産ラインを請け負わせていただいております。皆様のお子様を持っている携帯用ゲーム機も弊社のラインにて生産した部品もあるかと(´▽`)

昨年4月から入会させていただき、右も左もわからぬまま35周年事業の担当委員会という事で、たくさんのお勉強をさせていただきました。貴重な経験ができました。

今後もYEG活動を通し、多くの活動に参加していきたいと思っています。



(株)エウシユウ
板倉 雄一

初めまして去年の2月に入会致しました板倉です。



(株)竹下印刷所
吉田 智晴

はじめまして、株式会社竹下印刷所の吉田智晴です。

弊社は総合印刷業として、大量ロット印刷物からチラシ、名刺、伝票など、急ぎの印刷物まで幅広く対応させて頂いております。特にオンデマンド印刷(デジタル印刷)を得意としています。少ない部数のカラー印刷物などは、ご相談下さい。

入会早々、YEG 35周年記念式典事業に関わる事が出来、貴重な体験をさせて頂きました。YEGでは学ぶ事が多く、今後も色々な活動に参加し皆様と交流深めたいと思いますので、よろしくお願いたします。



(株)マリージョゼ
岡田 享之

当社は福井県内に5店舗を構え、お客様のキレイのため日々努力しております。サロン営業の他、デイサービスセンターでのカット、婚礼など幅広く活動しております。

店内だけではなくホームページ、クーポン誌などでもその季節に応じたキャンペーンをしていますので是非ご来店下さい。

興味下さい。



藤 staff management (株)
本城 卓哉



(株)クレド
山下 邦子



(株)スタジオ日放
高橋 智道



(株)ネットシステム
吉田 充男



(株)チエック・サービス
小川 隆之



(株)北陸ゴルフ倶楽部
土肥 貴史

今年の抱負としてYEGの中で菌車の一つとして貢献できたらとととと意欲的に自己研鑽したいです。これからもワクワク感一杯で行きますので宜しくお願いいたします。

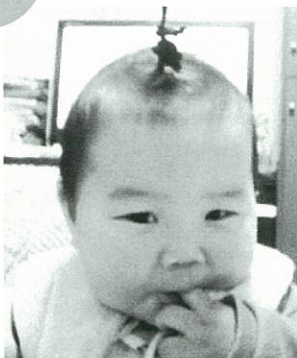
老若男女、初心者から上級者までが楽しめるゴルフ練習場です。レンタルクラブも用意しております。お気軽に寄れますので、ちょっとした時間にもお立ち寄りの上、運動不足解消にお役立て下さい。

併設で北陸初登場の神戸焼き屋もオープンしました。新食感の神戸焼きを、是非一度ご

おめでとう



Congratulation!



わが家の
もぐもぐ姫。
目下急成長中!

さ さ き し ほ
佐々木 詩歩
女の子(長女)
平成21年5月14日生
父 佐々木 俊一



Congratulation!



お父さんに似て、
人見知りをしない
やんちゃな僕です。
よろしく。

あ さ だ り く
朝田 凌空
男の子(3男)
平成21年5月14日生
父 朝田 健一



西木田通信

皆様には大変お世話になりました。青年部内では今年度水元会長の下、「懇親会」などの親睦を深める事業や会合が頻繁に開催されました。事務局も、会員の皆様方との交流を深めるべく楽しく参加させていただきました。そこで今回、事務局しか知らないようなユニークなエピソードを(個人のプライバシーの関係上イニシャルにて)ご紹介いたします。題して「事務局は見た!」

①ある懇親会後、某店で某K氏と一緒に今後の青年部について熱く語っていた所、「あら、〇〇ちゃん(K氏の愛称?)」と入ってきたのはK氏のお客様の御婦人。「今度〇〇〇(誰もが知っている有名歌手)のデイナーショーがあるんや、すごいやろ? チケット買ってくれんか?」という。現場にはなぜか前座に出演する歌手の方もおり「お願い」と言わんばかりの姿勢。これに対しK氏、相手がお客様ということもあり「良いですよ」と笑顔でチケットを購入、流石の対応。しかしその金額、2枚で5万円!! お客様が去った後、「これ高くねえか?」と、断りきれず渋々購入したことを告白。「大変ですね」と思ってチケットを見た途端に気づいてしまいました。「この日会議入ってますよ?」デイナーショー当日は青年部の会議...その後K氏がチケットをどう処理したのかはわかりません。

②「〇〇の会」「△△会」といった色々な会派が青年部にはあるようです。その中の一派に参加した時の話。この日は県外での青年部行事からの帰りに5名程度が参加。「飲み行くぞ」と声をかけたのは会の中心人物の某T氏。地元福井への熱き思いを武器に持論を展開します。しかしお酒が進むにつれ、話題は地域の話から、国・政治・歴史へ。しまいには「んじゃ何で人類や地球が生まれたんかっていう話やけど...」と天文学的な話にまで波及。ここまで来ると、もはや学者の域です。この日は新入会員の某O氏も参戦、随所で相槌を打ち話を聞いていらつしやいました。が、T氏の熱心な姿勢は言わば「カンフル剤」。T氏の調子は良くなり、マシンガントークは止まりません。気づけばもう閉店。「もう12時け? んじゃ次どこ行くんや?」その日はさすがに帰宅いたしましたが、他の会派でも、この非常に有難い話は展開されているそうです(本当に参考にになりました)。

YEG活動には、見えない所での隠れた舞台裏がございます。来年はどのようなドラマが生まれるのか、楽しみにしたいと思います。

事務局 神谷 和幸